

平成19年 3月23日付け付議第1号事件  
 平成19年 5月16日付け付議第2号事件  
 平成19年 7月11日付け付議第3号事件  
 平成19年 9月12日付け付議第4号事件  
 平成19年11月14日付け付議第22号事件  
 平成19年12月12日付け付議第23号事件  
 平成20年 3月12日付け付議第3号事件  
 平成20年 5月21日付け付議第4号事件  
 平成20年 7月 9日付け付議第6号事件  
 平成20年12月10日付け付議第3号事件  
 平成21年 2月 4日付け付議第2号事件  
 平成21年 6月10日付け付議第5号事件  
 平成21年11月26日付け付議第6号事件  
 平成21年11月26日付け付議第7号事件  
 平成22年 3月10日付け付議第1号事件  
 平成23年 3月 9日付け付議第1号事件

## 証 拠 申 出 書

電波監理審議会主任審理官 殿中

平成23年5月13日

異議申立人ら代理人

弁護士 海 渡 雄 一

弁護士 只 野 靖

弁護士 村 上 一 也



## 記

### 第1 人証の表示

大阪府吹田市山田丘

舟 木 剛 (呼出・尋問予定時間 180分)

### 第2 証すべき事実

- 1 同人作成にかかる鑑定報告書の基礎となるデータは、その採取過程に技術上の大きな欠陥が存在すること。
- 2 同人が鑑定報告書において用いている用語の定義は、国際規格の内容やJ I S規格の内容に反しており、測定値算出の前提となる基礎的理解に重大な疑義があること
- 3 本件で問題となっている技術基準を主導し、本審理においても総務大臣側書面を実質的に作成している杉浦行氏と、鑑定人とが懇意にしており、その鑑定内容の公正を疑うべき事情が存在すること

### 第3 尋問事項

別紙尋問事項記載のとおり

(別紙)

尋 問 事 項

- 1 身上・経歴
- 2 使用測定器の設定について
- 3 電波暗室等による測定限界等の事前確認について
- 4 周囲雑音測定の測定下限について
- 5 DC-ACコンバーターのノイズレベルについて
- 6 リアルタイム・スペクトラムアナライザー，スペクトラムアナライザー及びレシーバーと測定データとの関係について
- 7 フェライトクランプ追加の必要性と，当該追加の効果について
- 8 アッテネータ，同軸ケーブルシステム，トランジェントリミッター，プリアンプ，ネットワークアナライザーによる挿入損失測定法について
- 9 ループアンテナを使用した較正比較データ及びモノポールアンテナを使用した較正比較データについて
- 10 ディファレンシャルモード電流測定について
- 11 測定ポジションについて
- 12 測定器の校正について
- 13 勧告ITU-Rその他国際規格について
- 14 JIS規格について
- 15 杉浦行氏との関係について
- 16 その他，これらに関連する一切の事情

以上